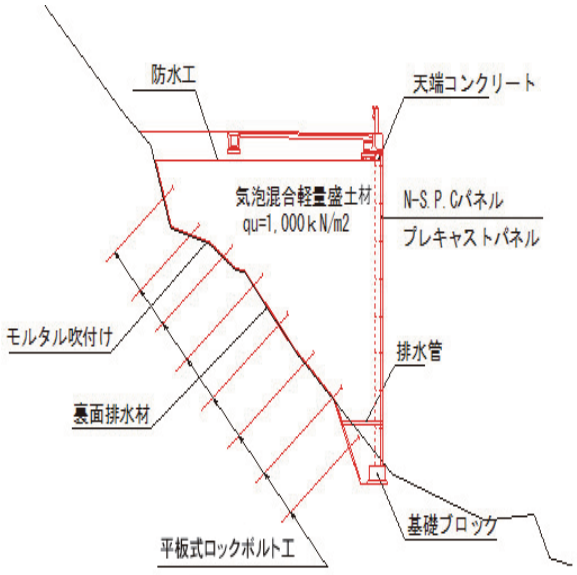
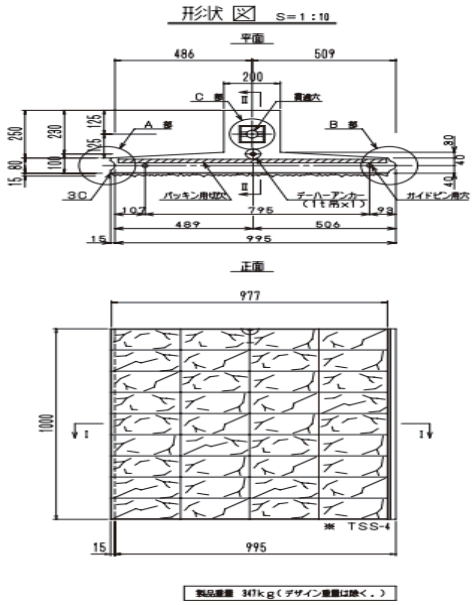
S－15　N－S.P.Cウォール（軽量盛土擁壁工法）NETIS登録NO.QS-110020-A

山岳地の道路改良・拡幅等で採用されています

プレキャストパネルをPC 鋼棒で連結・緊張（ｷｬﾝﾃｨﾚﾊﾞｰ方式を採用）することで，同パネルを型枠として，気泡混合材を1パネル（1m）毎に打設硬化させながら，垂直壁の盛土構造物を構築する。

・土工作業が少なく、仮設も小規模、施工速度も速いため、経済性が高い。

・基礎ﾌﾞﾛｯｸ設置の床付幅が1．5m程度で施工可能。又軟弱地盤上の擁壁構築が可能。

・裏込め材に気泡混合軽量盛土材を用いるため、既設構造物の撤去や転石、浮き石の撤去が不要。

・地すべり地形箇所においては N-S.P.C パネルに直接永久アンカーが配置できるため、別途受圧板が不要。